

白菊だより

第61号

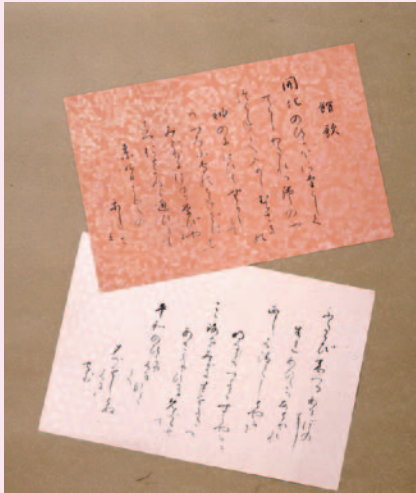


白菊会100周年

一般社団法人
白菊会

東京女学館校歌

作詞 尾上柴舟 作曲 小松耕輔



尾上柴舟先生自筆による館歌
(協力：東京女学館史料編纂室)

一、開化のひかげあたらしく

てらしわたれる虎の門

つらねて入りしむらさきの

袖のほひもむかしにて

うつろふ鳥のはねざはの

みどりにほゆる学びやに

くつおとかく通ひきて

集ふ日ごとのたのしさよ

二、ふたたび来つるあけぼのに

生れあひたる友とわれ

正しく清くしとやかに

明るくつよくすこやかに

こころをみがき身をきたへ

あさよりひるとめぐらせて

平和のひかりくまなくて

夕べをしらぬくとせむ

白菊だより 100周年記念号(第61号)

目次

校歌.....	2
白菊会のあゆみ.....	3
総会・同窓会のご報告.....	6
ご挨拶.....	6
白菊会理事長・宇佐美幸子.....	6
東京女学館館長・福原孝明.....	7
東京女学館小学校校長・田中均.....	7
白菊会新会員代表.....	7
昔の白菊だよりから.....	8
100周年記念号によせて.....	10
恩師から.....	10
大村佐登 渡辺正雄 荒井亘.....	10
氏家多美子 水上多津子 滝口英世.....	11
会員から.....	12
100周年記念座談会.....	14
支部だより.....	16
卒業生からのおたより.....	18
学校案内.....	19
母校の近況・ご結婚報告.....	19
退職のご挨拶.....	20
丸山正夫.....	20
白菊会活動.....	22
会からのお知らせ.....	23
100周年記念募金寄付者芳名・白菊会グッズ.....	25
卒業の歌.....	25

あゆみ

青字は白菊会 黒字は母校の出来事

1888	明治21	東京女学館設立 永田町御用邸雲州屋敷にて9月11日開校
1890	明治23	虎の門に移転
1891	明治24	第一回卒業式
1893	明治26	初代館長に辻新次就任
1898	明治31	第2代館長に吉村寅太郎が就任
1899	明治32	第3代館長に土方久元が就任
1912	明治45	卒業の歌「花はうるわしき」が初めて歌われる
1918	大正7	創立30周年を記念し同窓会の名称を白菊會と名づけ 会報「志ら菊」創刊
1923	大正7	第4代館長に神田乃武が就任
1924	大正12	関東大震災により虎の門校舎全焼 宮内省より貸与をうけていた羽沢の御料地に 仮校舎を建設し授業を再開 新校舎設立のため白菊会会員も協力し寄付金を集める
1924	大正13	第5代館長澁澤榮一、職務を執行
1924	大正13	関西白菊会誕生
1928	昭和3	創立40周年 新校舎落成
1929	昭和4	小学科開設
1930	昭和5	財団法人東京女学館発足 白セーラー服を制服に定める
1931	昭和6	第6代館長に櫻井錠二が就任
1938	昭和13	創立50周年
1939	昭和14	第7代館長に松浦鎮次郎が就任
1943	昭和18	校章・校旗を制定
1947	昭和22	第8代館長に澤田源一就任
1948	昭和23	創立60周年 校歌「開化のひかげあたらしく」制定
1951	昭和26	学校法人東京女学館に改組



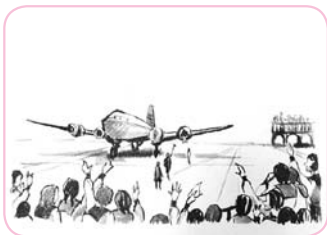
右：定款 昭和32年作成
左：社団法人白菊会設立許可申請書
(昭和32年2月23日)



大正8年卒業式
(協力：昭19卒 太田行様)

世の中の出来事

明治22	大日本帝国憲法公布
大正12	関東大震災
昭和4	世界大恐慌
昭和6	羽田飛行場開港
昭和7	五・一五事件
昭和11	二・二六事件
昭和14	第二次世界大戦
昭和20	第二次世界大戦終結
昭和21	日本国憲法公布



(枠内イラスト：昭33卒 桜田秀子様)

1952 昭和27

白菊会再発足

総裁 東伏見宮 周子（明25卒）
会長 津軽 理喜子（明24卒）
理事長 八木沢 しげこ（明40卒）※

1953 昭和28

戦後第1回同窓会開催

1954 昭和29

軽井沢に学習寮開設

1955 昭和30

湘南支部結成

1956 昭和31

短期大学認可

1957 昭和32

社団法人白菊会に改組

1958 昭和33

北海道支部結成

1963 昭和38

創立70周年「白菊だより」創刊

1966 昭和41

九州支部結成

1967 昭和42

同窓会館用地取得

1969 昭和44

中部支部結成

1971 昭和46

白菊会館完成

1973 昭和48

サンパウロ支部結成

1975 昭和50

第9代館長に宮地治邦が就任

1978 昭和53

短期大学 町田新校舎に移転

1982 昭和57

第10代館長に有光次郎が就任

1987 昭和62

創立100周年記念式典を国技館で挙

1988 昭和63

有光次郎、名誉館長となり、村山松雄が第11代館長（代行）となる

1990 平成2

有光次郎、名誉館長となり、村山松雄が第11代館長（代行）となる

杉村 鄰子（大6卒）※



第二回卒業生（明治25年）
東伏見宮周子妃

岩垂 裕子（明45卒）※

津田 恵美子（大10卒）※



白菊の家（昭和42年）

太田 多美子（大14卒）※

宮崎 実子（昭5卒）※

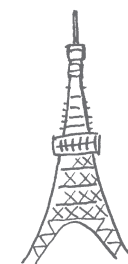


白亜の白菊会館
（昭和46年）

西岡 志奈（昭10卒）※



昭和28 テレビ放送開始



昭和33 東京タワー完工式

昭和34 皇太子（今上天皇）ご成婚（4月10日）

昭和35 カラーテレビ本放送開始（9月10日）

昭和38 伊藤博文新千円札（11月1日）

昭和39 東京オリンピック



昭和41 電子レンジ・電気蚊取り

昭和42 リカちゃん人形誕生

昭和44 アポロ11号月面着陸（7月20日）

昭和45 大阪万博（3月14日）



昭和47 沖縄県誕生

昭和49 ハローキティ誕生



昭和51 ハガキ20円、封書50円

昭和52 王貞治HR756号世界新記録・夏目雅子デビュー

昭和53 成田新国際空港開港（5月）

昭和54 初の共通一次入試（1月13日）

昭和57 五百円硬貨発行・ペットボトル清涼飲料水登場

昭和58 東京ディズニーランド開業（4月）

昭和60 日航ジャンボ機御巣鷹山墜落（8月12日）

昭和62 国鉄民営化、JR発足

1991 平成3

「東京女学館百年史」刊行

1993 平成5

第12代館長に澁澤雅英が就任

1994 平成6

1995 平成7

静岡支部結成
創立110周年 広尾新校舎完成

2001 平成13

白菊会館築30年の耐震工事終了
短期大学募集停止
東京女学館大学開設

2002 平成14

2004 平成16

第13代館長に麻生誠が就任
国際学級を開設

2005 平成17

北海道支部閉部

2006 平成18

第14代館長に福原孝明が就任

2008 平成20

白菊会90周年
母校創立120周年

2009 平成21

フランス支部結成

2010 平成22

白菊会館大規模改修工事終了

2011 平成23

8月 公益法人制度改革関連法により、一般社団法人へ移行申請

2013 平成25

3月 内閣府より一般社団法人白菊会として認可される
白菊会95周年
母校創立125周年

2015 平成27

宇佐美 幸子（昭36卒）※

2017 平成29

2018 平成30

東京女学館大学閉学
白菊会100周年
母校創立130周年

※は理事長



現在の白菊会館



昭和64 昭和天皇崩御（1月7日）

平成元年 ベルリンの壁崩壊（11月）

平成2 大学センター入試導入

平成3 バブル崩壊・東京都庁舎完成

平成7 阪神淡路大震災（1月17日）・地下鉄サリン事件



平成9 東京湾アクアライン開通・ポケットモンスター

平成10 長野冬季オリンピック

平成11 携帯「インターネット、eメール」開始

平成16 新潟県中越地震（10月23日）



平成19 郵政民営化

平成21 裁判員制度スタート

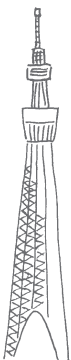
平成23 東日本大震災（3月11日）

サッカー女子W杯なでしこJapan優勝

平成24 東京スカイツリー開業

平成25 富士山、世界文化遺産登録

平成28 熊本地震（4月14日）



平成30 天皇陛下御退位及び皇太子殿下の御即位に
関連する式典の方針を決定

ご挨拶

白菊会理事長 昭36卒 宇佐美 幸子



白菊会創立100周年

東京女学館同窓会白菊会は本年100周年を迎えました。誠にお目出度く、この慶事を皆様と共に祝いできますことに大きな幸せを感じております。これまで永い年月栄えて参りましたのも、歴代館長先生始め諸先生方の温かいご支援と会員諸姉皆様のご尽力の賜と厚く御礼を申し上げます。

同窓会は、大正七年（1918年）に「白菊會」の名を得て、会報「志ら菊」が発行され、戦後休刊の時代もありましたが、昭和三十三年からは新聞形式の「白菊だより」となつて今日に至っております。

「白菊会」が「社団法人白菊会」となつて七年目の昭和四十二年には母校に隣接した地に永年の念願であつた同窓会館建設用地を取得し、昭和四十六年に三階建の会館が完成致しました。平成二十一年には老朽化と会員の希望の声を受けて大規模改修を行い使い易い立派な会館となり、平成二十五年四月「一般社団法人白菊会」としてスタート致しました。会員は明治二十四年の第一回生から数えて二万六千人余りとなり

ました。白菊会支部は関西、湘南、九州、中部、静岡、ブラジルサンパウロ、フランスパリーに有り、それぞれの地で親睦を深めていらつしやいます。

渋谷区広尾の本部では、十二名の理事が、総会同窓会、白菊だより発行、白菊会バザー等の運営に当たり、記念祭、中学校スクールアイデンティティー、小学校すずかけ教室に参加し、母校への後援、社会福祉事業への支援に努めております。又観劇会、懇親会、コンサートを企画し、会員の親睦を計り、白菊会の目的であります社会文化の発展に寄与すると共に、白菊会の伝統を守り活動致しております。

100年の永きに亘り、ご先輩より受け継がれて参りました白菊会の歴史に思いを致し、次の100年に向けて誇り高く恙無く歩みを進めて行かれます様に祈り強く念じております。今後共白菊会に皆様のご協力ご支援賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

総会・同窓会

平成30年5月27日（日）、第六回定期代議員総会が午前10時45分よりホテルグランドパレス「ダイヤモンドルーム」にて開催されました。さわやかな晴天に恵まれ、17名の委任状を含む68名の代議員の出席と岡田顧問税理士のご列席のもと、秋山常務理事による司会が始まりました。宇佐美理事長より、白菊会が一般社団法人として6年

目となり順調に役割を果たしていることの報告がありました。白菊会が本年100周年を迎え、100名近い方からのご協力を得ることができた記念募金は記念事業にあてさせていただくことを御礼報告いたしました。

続いて会計担当の金森・室伏両理事より平成29年度の事業及び会計報告、今年度の事業及び会計計画の説明があり、太田・関両監事による監査報告が行われました。これらについて理事長より決議を求めたところ盛大な拍手により賛成多数で可決され、11時10分に滞りなく閉会となりました。

12時からは第61回となる白菊会100周年記念同窓会が開会となりました。はじめに理

事長より総勢340名に及ぶ多くの皆様に御出席いただき百周年にふさわしい同窓会となりましたことを御礼申し上げます。ご来賓、諸先生方、各役員、新入会員のご紹介に続き白菊会の活動について説明がありました。湘南支部長の深田清子様からは支部のご様子をお話いただきました。昭和の最後に母校が100周年、平成の最後に白菊会が100周年を迎えることができ、伝承していく大切さと感謝を理事長の挨拶の結びといたしました。

福原孝明館長先生よりお祝辞を賜り東京女学館の輝かしい伝統と有難さを拝聴しました。新会員代表の挨拶のあと、卒業の歌を一同で斉唱しました。

ここからは記念コンサートとして、合唱部OGを中心に活動を続けるCHORつつじによる合唱が披露されま

した。指揮の正井進先生（元中高副校長）からは母校と卒業生への思いも交え曲の紹介が行われました。美しい歌声のコンサートは「扉を開けて」（母校創立100周年記念曲）で幕を閉じました。引き続き全員で校歌を斉唱しました。田中均小学校校長先生よりご挨拶と乾杯の御発声を頂くと場内は100周年の歓びに溢れました。

彩豊かなフルコースを楽しむ合間には、恩師や旧友との再会に盛り上がる場面がいくつも見られ、恒例のカドリールでは福原館長先生を中心に新旧の大勢の会員の皆様が時を忘れ楽しく踊りました。午後3時30分に記念の会は終宴となりました。



白菊会100周年記念第61回同窓会

ご挨拶

白菊会 名誉会長
第14代東京女学館館長・理事長

福原孝明



本日は、白菊会第六十一回同窓会の開催
おめでとうございます。

白菊会は、大正七（一九一八）年に設立
され、本年は一〇〇周年を迎えるとともに、
母校の東京女学館は一三〇周年を迎える
という記念すべき年であり大変おめでたい
ことと思います。

先日、渋沢栄一記念財団が発行している
機関誌『青淵』五月号に「『高樹会』の記
録のことー東京女学館初等科の思い出 戦
中奉安殿のなかった学校 渋沢栄一館長の
『思い』を推察する」と題するノンフィクシ
ョン作家関千枝子さんの随筆が掲載されて
いました。

関千枝子さんは、本校にアンネのバラを
下さった黒川万千代さんの妹さんで東京女
学館初等科二年から女学校一年の途中まで
東京女学館に在籍し、一九四四（昭和十九）
年にお父様の転勤で広島へ引越されました。

東京女学館小学部が開校したのは一九二九
年（昭和四）、このころの館長は渋沢栄一で
ある。そして一九三一年、亡くなるまで館長
であった。渋沢栄一というと、財界の功績は
かりが知られているが、渋沢さんは早くから
女子教育に熱心で、一八八七年（明治二〇）

ご挨拶

ごあいさつ

東京女学館小学校校長 田中 均



今年は季節の移り変わりがことのほか早
く、新人生を桜やチューリップの花でお迎
えすることが叶いませんでした。それでも
2年生が1年生の手を引いて校内を案内し
たり、6年生が1年生のお世話にいそし
んだりしている姿をみるとほっとします。卒
業生を送り出し新入生を迎える循環の中で
女学館の伝統が引き継がれていきます。

今年、東京女学館は130周年、40歳年下の
妹である小学校は創立90周年を迎えまし
た。10年先には小学校が100年という大きな
節目を迎えます。

校庭の脇に時計があります。これは平
成10年9月に今の校舎の落成と創立110周年
を記念して寄贈されたものです。伴憲三郎
先生が校長先生をお勤めになっていまし
た。この日時計の下にはタイムカプセルが
埋められています。おそらく当時の在校生
が書いた文集や絵、学校の日誌などがおさ
められているでしょう。銘板には20年後
に開封すると記されています。

私たちはその約束を果たそうと思いま
す。9月8日（土曜日）に「タイムカプセ
ルの日」を設けました。新年度になってこ
の日をどのようにお迎えしようかと企画を

練っています。当時在籍していた児童の皆
さんはもちろんのこと、旧教職員の皆様方
もお呼びしようと考えています。

歴史や伝統は人が入れ替わってもその循
環の中で生き続けるものです。循環のサイ
クルが出来上がるためには世代をまたいで
継がれていく「約束」があると思います。
約束の重さを感じながら今年もよりよい学
校づくりに励んでまいります。

新会員挨拶

白菊会新会員代表 平30卒 国富 優希



今年の3月に東京女学館高等学校を卒業
した私たちは、将来に向かってそれぞれが
別の道を歩み始めました。慣れない新しい
環境での生活に戸惑うこともありましたが、
今日こうして六年間を共に過ごした友
やお世話になった先生方と久々に顔を合わ
せることができ、懐かしさを感じておりま
す。これからも、東京女学館は私たちに
とって自慢の母校であり、温かく迎え入れ
てくれる心の支えになることと思います。
これからは、先輩方が築きあげてくだ
さったこの伝統ある白菊会の一員であるこ
とに誇りを持ち、東京女学館で学んだこと
を糧に日々努めてまいります。有難うござ
います。

昔の白菊だよりから

第32号より

あらゑの事



「志ら菊」第一巻は大正七年一月に発行され、発行所は東京市麹町区三番町一番地とされ、黄色の表紙に白菊の絵が描かれ、故國分操子先生の「志ら菊」と美しい筆蹟で書かれた一冊の会誌に、会員の消息が候文で掲載されている。

懐かしい黄色の会誌は、昭和十八年第二十五巻発行後第二次世界大戦が起き紙不足の為、中止となった。

昭和三十二年四月一日社団法人「白菊会」として故杉村郷子理事長（大正六年卒）が、五十万円を積みたてての末、待望の文部大臣許可を受けた。昭和三十三年十二月第一号白菊だよりが発行され、会誌形式のものから現在の新聞形式となる。

（当時の理事長 西岡志奈様による説明より抜粋）

白菊だより第一号（昭和33年）



バックナンバーをスクラップ

——こんな事もありました——
昭和38年第6号から



支部だより

湘南支部
材木座三井生命海の家での秋の同窓会、鎌倉本舗わかもと長尾美術館見学、茅ヶ崎アングロイストコロレート工場見学など。

名古屋支部

名古屋の公園、寺院の自然の中でのおしゃべりを楽しめた様子が伝えられている。

北海道支部

東京での同窓会同日に札幌三越で開催した。出席者による寄せ書きが掲載されている。



亡き椎名先生を偲んで

大15卒 三田利子様

カラン、カラン、カラン、赤い煉瓦造りの虎の門の校舎に始業をしらせる鐘が鳴る。・・・椎名先生は紺のお袴をキチンとつけられて、国語の教科書を片手に持たれ、それを扇でもお使いになるように軽く振られながら教室に入っていられしやる。・・・ノートを二、三日して返してください。・・・全部出来ていれば、「美」とか「美わし」と御筆跡そのものが実に美しく書かれている。これを頂いた時のうれしさ、そしていつも泥縄では駄目というところを感じるのであった。・・・

留学生となつて

昭34短卒 赤穂直子様

・・・一ヶ月後にはパン・アメリカンの乗客となりました。サンフランシスコに到着後、直ぐにステートカレッジの入学試験を受けた次第です。

・・・音楽好きで、輸入レコードのジャケットの素晴らしさ、また外国雑誌の広告のアイデア、デザインに興味をもって・・・一般に学生は週日よく勉強し週末はピクニックやドライブをしたり、またたまにはパーティに出かけているようです。

日常の生活も買物はセルフサービスのスーパーマーケットでいたします。

・・・若いうちに外国で生活し自国のよさを認識する事が意義のある事だと感じます。

白菊だよりバックナンバーのお問い合わせは白菊だより担当者まで。

白菊だよりに見る同窓会の移り変わり

第5号より



昭和37年5月13日 八芳園新館にて
卒業生による余興は日本舞踊「老松」、ハワイアン音楽だった。写真は会場前の「つまおり傘」の下に集う卒業生たち。

第19号より



昭和51年5月22日 ホテルグランドパレスにて
懇親会では洋食バイキング、すし、赤飯などの和食、模擬店のそば、やき鳥、デザート等好みのお料理を賞味した。



第46号より

平成15年5月
東京會館ローズルームにて
最近の同窓会は3月に母校を卒業した新会員を歓迎し先生方や新旧の会員たちが世代を超えお食事やカドリールを楽しむ懇親の場となっている。

第4号より



昭和36年6月4日
春季同窓会 明治記念館にて
新会員はカクテルドレス姿が多かった。
写真は余興の芝生の上でのバレエ。

第6号より



昭和38年5月11日
目黒八芳園の庭園にて
おすし、おだんご、アイスクリーム等の模擬店が並び
ステージではきものショーが催された。

同窓会開催場所		
昭和	35	八芳園
	36	明治記念館
	37~39	八芳園
	40~42	芝白金迎賓館
	43	ニューオータニ
	44~45	東京プリンスホテル
	46	ホテルニュージャパン
	48~50	第一ホテル
	51~54	ホテルグランドパレス
	55~56	平河町 マツヤサロン
	57~59	東京會館
	60	ホテルオークラ
昭和61~平成26		東京會館
平成	27~30	ホテルグランドパレス

(白菊だより調べ)

第二号より
第八代館長 澤田 源一先生の
ご挨拶から
「白菊会員の皆さんに」

世界の数十億の人間、一人として同じ容
貌の人は居りません。況んや僅か数千に過
ぎぬ白菊会員ですから、その一人一人の生
い立ち、その境遇、その心身、凡て皆違
う筈です。(中略)そして現在千紫萬紅、色
とりどりの境遇に居られるのです。

人は誰でも一人一人が、かけがえのない尊
厳な人間であるのですが、併し、決して独
りぼっちで居られるものではありません。
親のない人は一人も居ないのであるから、誰
一人として家族を離れた人間はないので
す。それと同様、嘗て学生であった人は、
皆級友の中の一人であった筈です。同じ年
次の人が色とりどりの一本一本の横線であ
ったとすれば更に年次年次の先輩後輩とい
う関係の縦線によって貫かれ、そこに麓は
しい織物ができるような姿こそが同窓会と
いうものではないでしょうか。年次や世代
は夫々違っても、知識欲の旺盛な、情熱高
鳴った少女時代に、その時代でなくては感
得しえない生活経験の場であった母校、そ
してその延長ともいえるべき同窓会、一人一
人の人間に魂があるならば、生き生きとし
た人間の親しい集団である母校にも亦同窓
会にも勿論魂がある筈です。形容のできぬ
親愛感、自分を愛する如く自分の母校を愛
する、それは理屈ではなくもつとも自然な
ことです。皆さんの母校というのは必ずし
も、虎ノ門の校舎や羽沢の校庭のことだけ
ではありません。眼には見えぬが眼底深く
消え失せぬ、声なく形なく而も心の琴線に
触れる何ものでしょう。

白菊会100周年記念号によせて

恩師から

女学館の思い出

元中高 数学科教員 大村 佐登



大学を卒業して公立校に勤めておりました私が、女学館の教諭になったのは、昭和三十四年でしたが、その頃は、小・中学生の人数の多い時代で、女学館は受験戦争の大変激しい学校でした。それでも当時は、女子は文系志望者が多く、女学館でも理系科目の授業は、高二・高三では、大分カットされて居りました。そんな中、職員会議の折、お願いして希望者に理系の科目を選択できるようにして頂きました。そのためかも知れませんが、実質的に時間割を組むのが数学科の先生中心の仕事となり、高一、高二の生徒が十月に選択科目の希望を提出してから翌年の三月下旬に新年度の時間割が組み上がるまで、忙しい日々を過ごすことが多かったことを覚えて居ります。

昔は、あの白い制服だけが憧れの的であったように考えられて居りましたが後輩の先生方や生徒さんの努力によつて近年、東大合格者まで出るようになって嬉しい限りです。

未来の幸よ、花開け！

元中高 国語科教員 渡辺 正雄



白菊会創立100周年、おめでとうございます。今年は学校創立130周年でもあります。卒業生の熱い愛校精神と誇りが東京女学館を支えてきたと思います。

明治の中期に国際化を旨に開校した東京女学館は、躰や人としての礼儀を大切にしながら自由な女子校としての校風を維持してきました。1980年代からは、「品性を高め、真剣に学べ」を校是とし、偏差値や進学に偏らない、思いやりを基盤とした人間教育を目指してきました。更に、世界のグローバル化の中で、国際社会で活躍する女子のリーダーシップ教育を標榜し、東京女学館の教育は時代と共に成長してきました。国語教育や教育相談を通じて、東京女学館教育の歴史の一端に携われたことを誇りに思います。

広尾校舎を訪れ、白い制服と紺のリボンにあふれる笑顔を見かけると、「未来の幸よ、花開け！」と祈る気持ちになります。東京女学館の明日を見守り続けたいと思います。

白菊会創立のころ

高等学校 教頭 荒井 亘



東京女学館同窓会白菊会創立一〇〇周年おめでとうございます。

白菊会のみなさまには、平成二十八年度より庶務主任として母校との連絡窓口を務めさせていただき、日頃からたいへんお世話になっております。衷心より感謝申し上げます。この機会をいただき、白菊会が創設された経緯を振り返ってみました。

大正の頃は、春秋年二回、同窓会を催していたようです。大正六年七月十日に臨時有志同窓会を開催、会の名称を「白菊會」とすることなど七項目を決議、大正七年一月二十七日に会報「志ら菊」を創刊。これにより白菊会は大正七年創立としています。「東京女学館百年史」を繙けば、世に「虎の門」と称された校舎が老朽化、校舎移転新築を庶幾した女学館は費用の工面にあたります。白菊会もこの動きに合わせて創立されたと思われまふ。大正九年から三年間バザーを開催して収益金を建設費として寄付されています。女子教育奨励会評議員長の洪澤栄一が宮内省などを奔走して羽沢御領地（現広尾校舎）を借用したところで関東大震災に被災。わずか二ヶ月余で仮校舎を建設して授業を再開しています。爾来白菊会が常に母校東京女学館と共に歩んでくださっていることは欣快に堪えません。

会員から

なつかしい思い出

昭18卒 氏家 多美子



あれはいつの頃でしたでしょうか。私が初等科五、六年の頃、日比谷公会堂で同窓会主催の「ベンガルの槍騎兵」※と言う恰好の良いアメリカ映画が上映されたのを見に行きました。映画が終わり沢山の人のごみに交って二階の広いベランダに出た時、真暗がりの黒い波にもまれながら絹づれの音を聞き、かぐわしい香りがただよう空間で、大人の世界をかいま見ました。その記憶が私と同窓会との初めての出会いでした。

時が経ち昭和三十年頃、子育て他やと生活も一段落つきましたので同窓会と関わりを持つ様になりました。初めての理事会に出席致しました時は、岩垂理事長のお宅でメイドさんが目の高さにお盆をささげ持つて茶菓を運ばれて来られ、若い戦時中に家庭を持った者にはこれ恐縮の思いのみでした。しばらくは理事会は岩垂邸で開催されました。

白菊会の運営資金を集める為、理事は高等科卒業式の予行練習の折会場の出入口に募金箱を持って、自由意思での白菊会への入会金をお願いしていました。おおい白菊会館を建てるべく東京女学館のまわりの土地を物色し始めました。とても資金の足しにはなりません、バ

ザーをするのには仕入れは安く賞品の御寄付を仰ぎ会場も手頃な場所を探し売上を少しでもあげようと必死でした。

丁度その頃、私はしばらく主人の都合で日本を離れたので帰国して岩垂理事長の御奔走のおかげで同窓会が社団法人となり、多くの理事の方々の御尽力により立派な白菊会館が建設されたのを拝見し感無量でした。その上東京女学館の体育館が拝借出来たり、その他の御好意を受けられる様になり本当に有難く嬉しく思っています。

百年に亘り、同窓会が色々の時代を経て延々と続き今日に至った事、本当にお目出たく、今後ともに東京女学館のお役に立てる様な隆々とした白菊会が続きます様、東京女学館の繁栄と共に願って居ります。

※1935年公開ヘンリー・ハサウェイ監督の冒険活劇

お祝いのことば

元理事長 昭24卒 水上 多津子



このたびは母校創立百三十周年、同窓会百周年を迎えられ誠に同慶の至りとお祝い申し上げます。

私は今より約七十二年前海から引き揚げてきました。着のみのまま、やっと故郷へ辿り着いた私達家族の前には悲惨な戦争の傷跡が広がっていました。幸いな事に試験の結果東京女学館中等科への編入が許され、まず驚いたのは級友達のご丁寧な言葉づかいでした。当初は

戸惑ったものの大らかで逞しい友人達との出会いは生涯の宝物となりました。焼け跡の中、渋谷駅迄友と語り合いながら歩きその際の夕陽が何と美しかったことか。

これまで女子教育の為力を尽くされた諸先生諸先輩へ深く感謝申し上げます。

百周年に寄せて

前理事長 昭36卒 滝口 英世



私が理事長としてお手伝いをさせて頂いたのは平成二十一年から六年間でした。当時、公益法人改革が始まっていた同窓会である白菊会は公益法人とは認められず一般社団法人に移行しなければなりませんでした。その為には、将来会館を建て替えの時に先輩方が残して下さった預金が多すぎるから寄付をしない、と文科省から指導を受けました。

当時の会館は築後四十年以上経て、老朽化していましたので預金を半分使わせて頂き、大規模修繕をする事になりました。エレベーターも設置して使い易くなりました。弁護士、税理士の先生方のご助力、理事の皆様の協力のもと無事移行が終わりました。工事中は、カーペット、化粧室のデザイン等、皆でショールームに行ったり内装材で、あれが、これがと我家のリフォームの様でした。今でも会館へ行きますと、その時の楽しさが思い出されます。これからも益々の発展をお祈り申し上げます。

白菊会100周年記念

旧理事座談会

平成30年3月5日(月)

於 白菊会館

出席者○昭18卒 三田 芳子様
○昭29卒 島本 秀代様
○昭37卒 福井三弥子様
○昭49卒 北原 博子様
司会・記録
○白菊だより担当理事

—— 本日は皆様方の理事を経験されていた頃のお懐かしいお話をお聞かせ頂きたいと思います。

三田 あ頃のことを思うと今は夢のようなね。あれから40年近く経っていますもの。

島本 バザーがね三条苑だったの。宮崎様の時から学校でしたほうが父兄も学校の方たちもいらっしやるのでは？って言われて。あのころは皆さまで来るのが常で、日赤の駐車場の係の方にお話しして借りられるようになったんです。駐車場の番人が必要だったので息子が高校の学生部の役員全員に出てもらって交通整理をしてもらったの。

北原 家族総出で。

三田 体育館をお借りしてバザーをやりました。それからはわりとバザーが評判が良くなって理事一同で福引の景品を良くしようとか学校でバザー券を売らせて頂けるようになったとかとても盛んでございました。

—— バザーはその頃どんなでしたでしょうか？ 福引の賞品ですとか販売する品目など覚えていらっしやいますか？

三田 和光のハンドバックが一等。あれがはじめでございますね。で、バザーの景品を良くするのには随分理事の方に働いて頂きました。ちょうど家のそばに開店したキャンデイやさんがすごい評判で女学館の生徒さんも買いに来ていたのでそれでちよつと注目致しましてね。で、掛け合って買い入れましてそれを福引と、それだけではもったいないのでみなさん

んに協力していただいて袋に詰めて売ったりもいたしましてね。初めてのことが結構多いでしょ。

島本 初めてのことを一生懸命やりましたね。

—— では、やはりバザーが一番でしたか？ 白菊会にとっては。

福井 エプロンとか手作りでヘアケープとか



北原 小学生の時、白菊会でのバザーで母にスモッキングのワンピースを買ってもらった覚えがあります。

福井 羽澤に住んでいる方は女学館のバザーの日にちを記憶していて良いものがあるとか有名だったようです。

—— 手作り品が多かったのですか？

北原 そう。手作り品が多かったです。

三田 私達がコーヒーショップした時はあなたいらした？

小川軒のレーズンウィッチが売り出されてなかなか買えない時でしたの。よく買っていたものですから店長さんがサービスして下さるようになりましたね。

それで考えましてね、コーヒーにレーズンウィッチをつけて販売してとても良く売れました。

娘のお友達を動員してコーヒーを入れて頂いて、それがとても評判が良かったものです。

—— みなさまご家族にご協力いただいたのですね。今は高校卒業後30年でお手伝いをしていますが、そういうのはございましたか？

北原 それは私の2つ上の学年からです。水上様が思いついて。

年が48歳ということで。コーヒーとかキャンデイレイとかゲームとか段々進化してきて……
同じ年なんだけれど年々賢くなって華やかになって。

～あの頃の理事会～

福井 私は卒業した次の年に急に父を亡くしましたもので落ち込んでおりまして、その頃太田様が理事をされていて白菊だよりをお宅の応接間で印刷会社に来て校正のお仕事をするので「三弥子さんお手伝いにいらっしゃい」と。それで白菊だよりをお手伝いすることになり、その後理事になりました。その頃岩垂さまが理事長をされていて、もちろん会館もない頃で、理事会は岩垂様のお宅の応接間でとても洋風な素晴らしいおうちで靴のまま入れるようなところで開いていました。なんか楽しくて楽しくて、みなさまとお話して雰囲気がつとも素晴らしくて、やっぱり女学館の卒業生の生き方とか先輩の生活の態度をすごく学ばせて頂きました。

—— 緊張されましたか？

福井 理事会の日に玄関に入るときは深呼吸してから入っていました。(笑)先輩方は2～3年違いなのに差はすごく感じられました。別に怖いわけじゃないの。身をもって



(左から) 福井様 島本様 三田様 北原様

ピシッとしていらっしゃるから時間も守りましょうとか、そういう仕事の向き合い方も素晴らしく大変勉強になりました。

—— その後白菊会館ができたのですね。

島本 日本間があつたのよ。そこでみんな集まって、寒かったわね。

北原 その頃校舎の建て替えがあつたんですよね？ だから最初はバザーの時、元の食堂や体育館が使えたんです

けれど、工事で使えなくなって普通のお教室を使わせて頂いてちょっと大変でしたよね。

三田 他の代の方のお話をお聞きすると色々ご苦労なさったのね。

～白菊会へのメッセージ～

島本 よくやっていらっしゃるから心配ないと思いますわ。

三田 殆どの方が会則をご存じないのよね。ご卒業の方に白菊会というものについてのパンフレットを差し上げたと思うていたんですけれど、お渡ししたらいかがかな？と思います。

会館もこんなに素敵になりましたし。年寄りの繰り言でね。若い方たちのご意見をどうぞ。

福井 皆さますべてご奉仕の心で築いて下さったので、当たり前とは思わずに常に感謝しておりますのでそれを維持して後世の方に伝えられるように、次々理事は変わりますけれどもそこを一番大事にしていきたいなど。

新しいものを取り入れながらも古い方々のご苦労を覚えていて頂きたいと

いつも思っております。

北原 名簿の係をしたので名簿の大切さが受け継がれていきますよう、代々の方々が受け継いできたものなので守って頂きたい。

働く女性が増えてきたので今までのように奥様が理事をするという事を期待するのが難しくなってきたと思います。

三田 皆さま良い考えをなさってお尽くし下さるのがあるがたいと思っています。会の発展を願っております。

福井 もう一つ。女学館の同窓会をみなさまが大切に思っていていらっしゃると感じるんです。「女学館の方々は本当に仲良くて羨ましいわ」と色々な方々からいわれます。それも大切に考えて頂けると嬉しいと思います。

三田 宝物ね。

—— ご先輩方が積み上げてきて下さったご経験のもとに今、百年目があるのだと改めて痛感致しました。お忙しい中ありがとうございます。

みなさま お気をつけてね。ごきげんよう。

❀ 関西支部

昭44卒 西岡 裕子

初夏の青空のもと、5月16日に大阪のウエスティンホテル中華料理「故宮」にて関西支部白菊会を開催いたしました。

東京からもお一人参加され総勢15名の参加となりました。殿水様の御発声で乾杯。ミシランで連続9年星を獲得しているおいしいお料理を頂きながら、女学館時代の先生方やお友達のお話で楽しいひとときを過ごしました。

来年は関西白菊会は開催一〇〇回を迎えます。残念ながら年々御参加の方が少なくなりつつある状況ではございますが、こちらに転居されました方もぜひ御参加お待ちしております。



関西支部 2017.5.16 ウェスティンホテル大阪「故宮」

❀ 湘南支部

昭53卒 鈴木 秀江

今年の湘南支部

新年会は鎌倉・材木座の国道沿いにあるアマンダンブルーで1月26日金曜日に開催いたしました。平日にも関わらず30名弱の出席を賜り、湘南の海の光が降り注ぎ眩し過ぎる会場で和やかに歓談しつつ、美味しいフランス料理を満喫いたしました。

秋、9月30日には白菊会本部バザーで昨年同様、手作りのお菓子ワッフル・マフィン・スコーンと新作の白いセーラー服ポーチなどを準備する予定です。

少し遠い方も久々に母校バザーにお遊びにいらしては如何でしょうか。

来年の新年会は1月25日金曜日に同じアマンダンブルーで開催いたします。また皆様にお会いできることを楽しみにしております。



湘南支部 2018.1.26 アマンダンブルー

❀ 九州支部

昭50卒 殿村 博江

白菊会創立百周年によせて

白菊会創立百周年、誠におめでとうございます。一九一八年頃は、大正デモクラシーや女性解放運動等女性の社会進出が始まった頃。そのような時代背景の中で、会を立ち上げられた方々は、素敵な方々だったのかもしれないと想像するだけでも楽しいです。今や女性には日本だけではなく世界のあらゆる分野での活躍があり、その成果にも輝かしいものが見られます。先人達の偉大な努力の賜でしょう。この先の百年もさらに女性が子育てしながら社会に貢献できる日々が続きますように、若い白菊会会員の皆様の御活躍を願うばかりです。

白菊会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



九州支部
長崎ハウステンボスチューリップ祭

❀ 中部支部

昭53卒 幹事

女学館の友

今年も紅葉シーズンの11月22日参加者14名、名古屋国際ホテル「銀座」にて、中部支部白菊会が開催されました。

一年ぶりの再会と共に話に花が咲き、先輩お姉様方の修学旅行や登下校時のお茶目で少々ハイカラな談話に、一同驚きや笑いの絶えぬ時を過ごし、年月を重ねても皆様方は女学館時代を大切にしていられっしやいました。

私事ですすが紆余曲折を経て現在に至り、心に病を持った時期がありましたが、中学校時代を共に過ごした心優しい数人の友の存在により支えて頂きました。

「ありがとう。」大切な女学館の友です。今年、白菊会創立百周年です。

母校歴代の諸先生方をはじめ、卒業生の皆様の幸多き事を願います。(K)



中部支部 2017.11.22 名古屋国際ホテル「銀座」

静岡支部

昭46卒 鈴木 麻貴枝

このたびは白菊会百周年を迎えましたこと大変嬉しく思っております。

さて、静岡支部ですが昨年十月二十二日、ホテルアソシア静岡「梨杏」にて開催いたしました。台風二十一号が接近するなか、二年ぶりの開催となり七名が参加致しました。とてもアットホームな集まりなので、まだいらしたことの無い方も、ぜひご参加下さいませ。学年は違っていても、共通の思い出は多々あり、皆様あつという間に女子学生に戻ってしまいます。最初から最後まで笑い声の絶えない、楽しい時間を過ごすことができました。しかし、この日は台風が近づいていたため二次会は短め



静岡支部 2017.10.22 ホテルアソシア静岡「梨杏」

に、家路につきました。皆様、「静岡は本当に住み良い所。」と口を揃えておっしゃいます。私も同感です。静岡の同窓の方々とのご縁、これからも大切にしていきたいと思っております。

サンパウロ支部

昭35卒 川上 久子

標本の管理、維持

近年は気候、気象の変化が年ごとに大きくなり今年の日本からは豪雪のニュースが殊の外多かったように思います。ブラジルも雨量の多い日々でしたがイースターを過ぎて花の季節となりました。鮮やかな緋色の火炎木に始まり遠目には桜の様に見える木綿の花、続いてブラジル原産のイツペーロツシヨ、7月から8月半ばには桜が咲き始め、サンパウロ各地で桜祭りが行われます。所属する博物研究会でも一年かけて苗を作り3日間続く祭りの会場で販売するのです。

満開の花の下、大勢のお客様が買い上げ下さり、毎年一鉢残さず完売しております。それは今は亡き博物館館長が採集された膨大な植物標本を維持、管理する為の大切な資金となるのです。只今コンピュータに記録入力中ですが、「最良の保存、維持の方法は何か」が私どもの大きな課題となっております。

皆様、お元気で。

支部連絡先

- 関西支部
連絡先 長谷川由利子(昭41卒)
- 湘南支部
支部長 深田清子(昭48卒)
- 九州支部
連絡先 殿村博江(昭50卒)
- 中部支部
支部長 松本多栄子(昭56卒)
- 静岡支部
支部長 鈴木麻貴枝(昭46卒)
- サンパウロ支部
支部長 川上久子(昭35卒)
- フランス支部
支部長 瀧脇千恵子(昭35卒)

フランス支部

昭35卒 瀧脇 千恵子

午後三時、虎ノ門に花が咲く

この題は昔教えを受けた新谷先生が語られていた一言です。三時になると虎ノ門の女学校が退け袴姿の女生徒が三々五々帰路に着く、その様子は街に花が咲いたかのようであった、これは開国後啓蒙的な思潮の中で新設された東京女学館の生徒を称美する詞だったのです。時代の推移に子女の教育は容儀を学ぶに留まらず、学識を備える事も然りとして外国から教師が招かれ遠交に対応できる女子教育も率先されたようです。その指針は変わる事なく、私達の世代も四十余年教鞭を執られたトロット先生の師恩に与り、英語の教本を暗誦したものです。今、出自の場、母校を惟れば愛日の温もりにも似た慈しみを覚えるのです。

十二月一日の会はチエコから月田さん、ベルギーからは人見さん、フランスは山下、伊藤、モアソン、瀧脇が参加し、学窓の由緒を共有する友に快いコンプリス(同士の暗黙の結束)を感じつつ談笑の時を過ごしました。母校の一年後に建てられたエッフェル塔が遠くに望めました。



フランス支部 2017.12.1 Cercle de l'Union Interalliée

卒業生からのおたより

軽井沢白菊会

幹事一同



軽井沢白菊会 2017.8.1 万平ホテル

歴史ある万平ホテルでの「軽井沢同窓会」も今回で六十回目を迎えました。正面玄関から宴会場に入ると、あちらこちらから賑やかな声が聞こえてきます。全員の集合写真を撮ってから、華やかな会の始まりです。

福原館長先生にもご臨席を賜り、お料理を堪能しながら各人の近況についてお話を伺いました。学び舎が同じですと、学年が違っても距離の近さを感じることが出来ます。連絡先の交換などで、また輪が広がっていくのはとても嬉しいことです。軽井沢会が、六十回目を迎えたという事で、大きなケーキを用意して頂きました。こちらもお料理同様、美味しゅうございました。

この軽井沢白菊会をここまで続けて下さった諸先輩方に感謝です。そしてこの会が、今後も

末永く続くように引き継がねば、と強く思いました。

快適な夏の軽井沢白菊会に是非ご参加下さい。

今年も八月一日（水）を予定しております。

お待ちしております。

※お問い合わせは白菊会館まで

卒寿の祝い

卯の花会 幹事



2017.10.25 ウェスティンホテル東京

昭和二十年A卒業の私達は今年九十を迎え雨模様の中、十名が集まり八十年前の話を花を咲かせました。今も紺や赤いリボンのセーラー服姿を見ると懐かしさで一杯です。戦時中故、傷病兵の白衣を縫ったり学徒挺身隊として工場で奉仕をしました。運動会等の楽しい数々の思い出も走馬燈の様に浮かびます。お互いに元気に暮らす事を約束し、最後に母校の益々のご発展を祈りお別れ致しました。

「崑寿を祝う会」を終えて

昭和36短 林 陽
吉見 靖子



2017.5.17 品川プリンスホテル

今はなき短大を昭和三十六年春に卒業した私達は「みろく会」と命名、ここ十年は毎年会を開いています。多くの級友が崑寿を迎える今年、二十四名出席のもと祝い合う会を開催しました。卒業時八十五名の級友も徐々に消息絶え、今七十名に案内状を郵送しています。

伴侶の介護や自身の体調不良等、出席が難しくなる方も多岐に及ぶ中、五十数年振りに参加される方々もあり嬉しいことです。短大は二年間の短い間ですが、大人へと成長する人生で最も輝いていた青春時代を共に学んだ級友との語らいは、宝物であり、来年またこの時期、この場所に集うことを約して閉会しました。



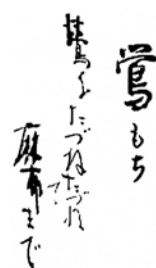
おかげさまで70周年

おいしいコーヒーとモカソフト

通販部 フリーダイヤル 0120-509-936
<http://mikado-coffee.com>

直営喫茶店舗 日本橋 渋谷 鎌倉 軽井沢 (3店舗) 上田
昭和49年3月卒

銘菓



贈り物には
銘菓を

麻布 青葉 総本舗

東京都港区六本木三丁目十五番二十二号
電話 〇三(三四〇四)〇〇二〇代
<http://azabu-aono.com/>

昭和五十一年卒業生還暦同期会

昭51卒 川野 えりか

薄曇りの三月十八日、還暦同期会を学食で開催しました。偶然にも東京女学館創立一三〇周年、白菊会一〇〇周年と重なりました。松尾先生、石田先生、菅田先生、横峯先生、埴先生、吉田昭子先生、石渡先生がご臨席され、今回連絡できた二八〇名のうち一三七名もの同期生が集まりました。石田先生の乾杯のご発声、談笑、他界した先生方や同期生への黙祷、先生方から一言、校歌斉唱、記念撮影と瞬く間に楽しいひと時は過ぎました。美術の先生監修の細部にこだわった制服姿のリカちゃんをはじめ様々な記念グッズの販売もありました。

卒業から四十二年経っても、会えばすぐあの頃と同じように話せる特別な存在の同期生。この同期会が懐かしい友人との思い出話で盛り上がっただけでなく、人生百年時代を迎え、これから親しくお付き合い合える友人の発掘の機会になったことを願っています。



2018.3.18 母校シンデレラ階段にて

白菊会バザーのお手伝い

昭62卒 福島 智子

十月一日、晴天に恵まれ、全員でお揃いのエプロンを着て、笑顔で皆様をお迎えしました。

例年通り、福引やすけけラウンジ、お弁当販売を担当し、今年は新しい試みとして、一番奥に魚釣りゲーム。入り口の教室をお借りして、喫茶カドリールを運営し、二種類のマフィンでもてなし。リボンの配色に工夫を凝らしたキャンディレイの作成。販売は、共楽堂様のご協力で、洋菓子「リボンショコラ」を作って頂き、受験生の方々には合格を祈り、オリジナルのポストカードをお渡ししました。また、赤と青のリボンをモチーフとしたアイシングクッキー、手作りの色鮮やかなタッセルも皆様に喜んで頂きました。



手作りのタッセル

この日のために、三十年振りに大勢の同級生が集まり、協力し合って作業する機会に恵まれ、また大盛況に終わりましたことに大変感謝致しております。

成人の日を迎えて

平28卒 前川 早希

平成30年1月8日、ホテルニューオータニ芙蓉の間にて私たち平成28年卒業生の成人を祝う会を開催致しました。学年主任だった伊東先生をはじめとするお世話になった高三の担任の先生方にも出席していただき、晴れやかなひとときを過ごすことができました。卒業以来の再会の友人もいる中、皆それぞれ綺麗な振袖を着てお化粧をし、少し大人になった姿で思い出話や近況報告ができてとても感慨深かったです。こうして先生方と卒業生が大勢集まる機会はこれからそう多くはないと思います。とても貴重な時間でした。改めて東京女学館での6年間の学校生活と先生方の熱心なご指導、恵まれた友人関係に感謝し、これからも大切にしたいと思いました。



2018.1.8 ホテルニューオータニ 芙蓉の間



事務機・文具の総合センター

株式会社

奥事いのは堂

広尾本店 〒150-0012 東京都渋谷区広尾5-3-15 ☎ 03(3473)2191(代)
 大岡山店 〒145-0062 東京都大田区北千束1-39-3 ☎ 03(5731)3226(代)
 外 商 部 〒150-0012 東京都渋谷区広尾5-3-16 ☎ 03(3446)1700(代)
 URL http://www.o-irohodo.co.jp FAX 03(3446)2174番
 E-mail toiwase@o-irohodo.co.jp

はぐくむ、大切なことのすべて

SHIDAX
http://www.shidax.co.jp

平成31年度 東京女学館小学校 入試に関するご案内

平成31年度 第1学年(一般入試)募集要項		平成31年度 第1学年(AO型入試)募集要項	
1. 募集学年・人員	約35名	1. 募集学年・人員	約45名(うち約3名「国際枠」)
2. 入学志願者の年齢	平成24年4月2日から平成25年4月1日までの出生者	2. 入学志願者の年齢	平成24年4月2日から平成25年4月1日までの出生者
3. 願書配布	平成30年9月2日(日)～9月28日(金)	3. 願書配布	平成30年9月2日(日)～9月28日(金)
4. 出願方法	出願書類を「簡易書留・配達日指定」で郵送	4. 出願方法	出願書類を「簡易書留・配達日指定」で郵送
5. 入学考査	平成30年11月2日(金)～3日(土)のいずれか一日	5. 入学考査	平成30年11月1日(木)
6. 合格発表	平成30年11月3日(土)	6. 合格発表	平成30年11月1日(木)
7. 入学手続	平成30年11月4日(日)	7. 入学手続	平成30年11月2日(金)

※学校説明会

日時：平成30年5月24日(木) 午後6時～(約75分)
会場：東京女学館記念講堂
受付・開場：午後5時30分～

※入試説明会

日時：平成30年9月2日(日) 午前10時～12時
会場：東京女学館記念講堂
受付・開場：午前9時～
※願書販売開始・校内施設見学あり

●入試に関する問い合わせは、(土)・(日)・(祝日)を除く午前9時から午後3時までにTEL: 03-3400-0874へ連絡ください。
※8月18日(土)・19日(日)の両日、東京国際フォーラムで私立学校展に参加する予定。パネルで学校を紹介しますが、ご質問にもお答えする予定です。

●願書・その他の販売についてのお知らせ

平成31年度(2019年度)新入生の入学試験は11月に行います。詳細については9月2日(日)から販売致します入学願書に添付の募集要項をご覧ください。東京女学館法人事務室でお求めいただけます。(願書一式1部1,000円)

本校の教育をお知りになりたい方は、書籍『東京女学館小学校の教育』『女性リーダーの育成をめざして』(1冊2,500円)や、映像で見る『学校案内DVD』(1本3,000円)をご覧ください。販売時間は土・日・祝日・行事日を除く平日の午前9時から午後4時30分です。

平成31年度 東京女学館中学校 入試に関するご案内

中学入試(一般学級)		中学入試(国際学級)	
第1回	平成31年2月1日(金) 募集30名 4科	帰国生	平成30年12月9日(日) 募集18名 英語・算数・面接または国語・算数・面接 ☆英検準2級以上を取得の場合、希望により英語試験免除
第2回	平成31年2月1日(金) 募集40名 2科(午後入試)	一般生	平成31年2月2日(土) 募集20名 2科(午後入試)
第3回	平成31年2月2日(土) 募集30名 2科(午後入試)		
第4回	平成31年2月3日(日) 募集30名 4科		

※学校説明会(一般学級・国際学級)

学校説明会は東京女学館の教育方針・学校生活等をご理解いただく機会です。

※全ての回にて、全体会終了後、ご希望の方には校内見学・個別相談を行います。

※第1回、第3回、入試説明会11月17日(土)開催分は予約申込みが必要です。

※食堂はいずれもご利用いただくことはできません。

※第1回、第3回、入試説明会では授業を見学いただけます。

【第1回学校説明会】6月5日(火) 10:00～12:00

【要予約】：ホームページの申し込みフォーム・上履き不要

内容：教育方針・学校生活・入試について・授業見学など

【第2回学校説明会】7月19日(木) 13:00～15:00

【予約不要・上履き不要】内容：教育方針・学校生活・入試について・校内見学など

【第3回学校説明会】9月6日(木) 10:00～12:00

【要予約】：ホームページの申し込みフォーム・上履き不要

内容：教育方針・学校生活・入試について・授業見学など

【入試説明会】11月17日(土) 10:00～12:00

【要予約】：ホームページの申し込みフォーム・上履き不要

内容：教育方針・出題傾向について・入試について・授業見学など

【第4回学校説明会】12月22日(土) 13:00～15:00

【予約不要・上履き不要】内容：教育方針・学校生活・入試について・校内見学など

2月2日入試について

一般学級・国際学級それぞれ別の入試になります。

入試問題は一般学級・国際学級共通の出題で、時程も同じです。

※オープンスクール

オープンスクールでは、生徒の活動や学校生活の様子をご紹介します。様々な体験講座にもご参加いただけます。ご希望によりインタプリター(生徒の校内案内係)がご案内もいたしますので、お申し出ください。ご家族で、是非ご来校ください。(軽食程度になりますが、食堂がご利用いただけます。)

●第1回：6月16日(土) 14:00～16:00 【予約不要・上履き不要】

●第2回：10月27日(土) 14:00～16:00 【予約不要・上履き不要】

※両日とも中学校入試個別相談を実施いたします。

※創立130周年記念祭(入試個別相談実施)

●11月10日(土) 11:15～16:30 【予約不要・上履き不要】

●11月11日(日) 9:00～16:30 【予約不要・上履き不要】

大学合格状況（平成30年4月）

国公立大学

大学名	H30
東京大学	1
一橋大学	3
東京農工大学	
東京医科歯科大学	
東京藝術大学	
東京外国語大学	1
東京学芸大学	1(1)
東北大学	
千葉大学	2(2)
横浜国立大学	
埼玉大学	
筑波大学	1
埼玉県立大学	
山梨大学	
首都大学東京	
横浜市立大学	
お茶の水女子大学	
国際教養大学	
岐阜大学	
電気通信大学	
防衛医科大学校	
金沢美術工芸大学	1
東京海洋大学	
北海道大学	1
秋田大学	1
鹿児島大学	1
国際教養大学	1

私立大学

大学名	H30
慶應義塾大学	23(3)
早稲田大学	38(4)
上智大学	30(1)
国際基督教大学	
東京理科大学	9(3)
立教大学	29(1)
明治大学	23(2)
青山学院大学	23(5)
中央大学	6
法政大学	6
学習院大学	16(2)
成蹊大学	8
成城大学	13(1)
武蔵大学	3
明治学院大学	26(2)

大学名	H30
玉川大学	
日本大学	30(6)
東洋大学	12(3)
駒澤大学	3
専修大学	3
國學院大學	5(1)
順天堂大学	
日本医科大学	1
東京医科大学	
東京女子医科大学	3(1)
杏林大学	6(4)
聖マリアンナ医科大学	1
東京歯科大学	
日本歯科大学	2
北里大学	5(2)

大学名	H30
昭和大学	8(1)
東邦大学	4(1)
星薬科大学	3
東京薬科大学	3(1)
明治薬科大学	2(1)
昭和薬科大学	1
日本赤十字看護大学	1
日本獣医生命科学大学	6(1)
麻布大学	3(2)
東京都市大学	3(1)
芝浦工業大学	4(2)
東京電機大学	
武蔵野音楽大学	
武蔵野美術大学	1
多摩美術大学	1

大学名	H30
東京造形大学	1
津田塾大学	10(1)
東京女子大学	34
日本女子大学	43(1)
学習院女子大学	8
聖心女子大学	25
白百合女子大学	28
東洋英和女学院大学	20
フェリス女学院大学	16
清泉女子大学	5
同志社大学	2
立命館大学	2
関西学院大学	

()内の数値は、
過年度生の合格者数

主な指定校推薦（2017年度実績）

大学名
青山学院大学
学習院大学
北里大学
慶應義塾大学
上智大学
白百合女子大学

大学名
成城大学
聖心女子大学
聖マリアンナ医科大学
中央大学
津田塾大学
東京女子大学

大学名
東京女子医科大学
東京薬科大学
東京理科大学
東邦大学
成蹊大学
東洋英和女学院大学

大学名
日本大学
日本女子大学
日本赤十字看護大学
フェリス女学院大学
法政大学
明治大学

大学名
明治薬科大学
立教大学
早稲田大学



東京女学館創立130周年記念に東京女学館リカちゃん人形を販売しております。

『東京女学館リカちゃん』販売のご案内

- ・価格は一体7000円（税込）。
- ・送料は10体まで一律1000円。
- ・利益は、全額学校に寄付されます。
- ・お申込み方法は、学校ホームページをご覧ください。

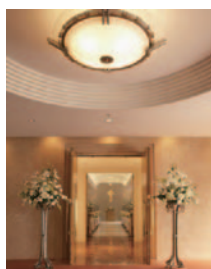
私が本学に赴任したのは、昭和51年4月です。その時は女性の先生が多く、男性の先生方は10名位であったと思います。数学科の教員では、私がはじめての男性教員でありました。少し不安もありましたが、先生方に優しくご指導を戴き、すぐにその環境になじむことが出来ました。



感謝
元中学高等学校 副校長
丸山 正夫

退職のご挨拶

中学1年の授業では、いつも生徒の目はきらきらして、楽しく授業をしたことを覚えています。私からの質問に対しても、みんな大きな声で答えてくれて、教えがいがありました。数学嫌いを作らないようにいろいろ工夫しました。クラブ活動は、バスケットボール部の顧問を39年担当しました。教務主任以降クラス担任を持たなかった私には唯一生徒と普通に話ができる貴重な時間でした。そして楽しい時間でした。最後に、学校関係のたくさんの方々に支えられて、定年を迎えることができましたことを感謝しております。白菊会のさらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。



結婚式でおもてなし Hospitalities for your wedding

愛にあふれた上質な空間のなか、
開業以来受け継がれてきた
美味しいお料理とホスピタリティで
心に残るひとときをお手伝いいたします。

ホテルグランドパレス
TEL 03-3264-1111(代) ウェディング担当まで
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-1-1
<https://www.grandpalace.co.jp>

卒業時姓
平成6（秋岡）井野 桃子
平成6（小山）須藤 宣子
平成17（安田）大畑 麻美
平成17（古川）藤原 華子
平成21（青木）木村 真美
平成24（田中）寺脇伊都美
（敬称略）五月末日現在

ご結婚
おめでとございます



定期代議員総会

平成二十九年度活動報告

月日	活動内容
5月28日	代議員総会・同窓会 (ホテルグランドパレス)
7月20日	白菊だより発行
8月1日	軽井沢白菊会
10月1日	白菊会バザー
11月11日 ～12日	母校記念祭 白菊会小バザー
12月7日 18日	歌舞伎観劇会 クリスマスミニコンサート (代議員会にて)
1月24日 26日 30日	小学校すずかけ教室参加
2月28日	高三 白菊会入会説明会

カドリール

昭26卒 武田 多美子

白菊会百周年誠におめでとうございます。

館長先生、諸先生方、ご先輩方のお陰様で東京女学館の伝統の素晴らしいカドリールが継承されています。そのお役に立てたらと、約18年間白菊会館で月一回楽しい練習のひと時を過ごしております。音楽に合わせてカドリールを踊ることに心より幸せを感じ、感謝申し上げます。

最初の頃から参加され、お世話してくださった方々がご事情でいらっしゃれなくなったことが残念でございます。この百周年の記念に御一緒に参加していただければと願っております。皆様で永く永く受け継がれていきますようどうぞお誘い合いお越しくださいますようお願いしています。

白菊会の益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。



カドリール練習日
第4水曜日 13:00～ 白菊会館にて

旧理事懇親会

本年三月五日(月) 白菊会館に於いて、旧理事懇親会を開催しました。

当日は約四十名の皆様がお集まり下さいました。会の前には三階の和室でお茶席をお楽しみ頂き、その後常務理事司会のもと、理事長より現在の活動等をご報告いたしました。旧理事の皆様からは当時のことや、母校への想いをお話し戴きました。

又、ご多忙の中、福原館長先生にお越し頂き、母校の現況についてお話を頂戴しました。

今日白菊会が100周年を迎えることができますのも皆様の御尽力の賜と存じます。今後も白菊会発展の為、より一層努力して参る所存でございます。



講座のご案内

白菊会館では下記の教室を開いております。
入会ご希望の方は白菊会へお申し込み下さい。

科目	講師	曜日/時間
		月謝
習字	島本 秀代先生 (昭29卒)	第1,3火曜/10:00~12:00 4,000円
キルト	那須加代子先生 (昭49卒)	第1,3木曜/13:00~16:00 5,000円
フラワーアレンジメント	坂田 桂子先生 (昭41卒)	月一回/13:00~15:00 4,000円
人形 (ビスクドール・布人形)	武藤 咲良先生 (昭55卒)	第3火曜/10:00~15:00 6,500円
フランス語	アンヌ・マリ・前島先生	第4水曜/12:30~15:00 1回 3,000円
コーラス	勝山先生	第1,3金曜/13:00~15:00 5,000円

すずかけ教室

一月に小学校「すずかけ」授業で昔のお話と遊びをお伝えしています。あやとり、おはじき、お手玉は、慣れない児童には難しく、出来るようになった時に喜び合ったり、出来ない時は励まし合ったり、温かな触れ合いに感動する場面も。昔のお話には熱心に耳を傾け、活発に質問する姿が多く見られ、今年も世代を越えた貴重な交流の場となりました。



平成三十年度活動予定

月日	活動内容
5月27日	代議員総会・同窓会 (ホテルグランドパレス)
7月20日	白菊だより発行
8月1日	軽井沢白菊会
9月30日	白菊会バザー
11月10日 ～11日	母校記念祭 白菊会小バザー (代議員会にて)
12月	歌舞伎観劇会 クリスマスミニコンサート
1月	小学校すずかけ教室参加
2月末日	高三 白菊会入会説明会

◎歌舞伎観劇会



◎ミニコンサート



昭61卒 杉原由利子様

白菊会バザー

■ 平成30年9月30日(日) 10:30～15:00

母校記念祭バザー

■ 平成30年11月10日(土) 11:30～16:00

11月11日(日) 9:30～16:00

母校記念祭に参加し、バザー・福引を行います。
皆様お問い合わせの上どうぞお出かけ下さい。

◎白菊会バザー



◎記念祭



父母の会音楽会



六月二日(土) 母校記念講堂にて中学高等
学校父母の会主催、白菊会後援による音楽会
『小松亮太バンドネオンスペシャルライブ』
が開催されました。

アルゼンチンタンゴには欠かせないバンド
ネオンですが、本格的なタンゴに加え、
初心者にも親しみやすいようジブリ曲等
も織り交ぜて演奏して下さいました。
様々な顔を持つ音色が心に響き、バンドネオンの魅力を堪能したひとときでした。

岡田泰税理士事務所

税理士 岡田 泰

法人決算・確定申告・相続・贈与・会社設立・新規開業から
経営・不動産・保険等まで、お気軽にご相談下さい。

TEL(03)6276-6489/FAX(03)6276-6490

<http://www.z-okada.com/>

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-14-10-303

*白菊会の顧問税理士です。白菊会会員の方は、お問合せの際、
その旨お申し出下さい。各種ご優待させていただきます。

白菊会会計報告

(平成30年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	平成29年度決算 (正味財産増減計算書)			平成30年度予算		平成29年度決算 (貸借対照表)	
	予算額	決算額	差 異	予算額		科 目	金 額
I. 収入の部						I. 資産の部	
1. 基本財産運用収入	10,000	1,631	△ 8,369	10,000		1. 流 動 資 産	20,063,967
2. 会 費 収 入	11,900,000	12,599,000	699,000	11,500,000		2. 固 定 資 産	
3. 事 業 収 入	4,500,000	4,622,094	122,094	5,000,000		基 本 財 産	500,000
4. 雑 収 入	400,000	295,959	△ 104,041	320,000		特 定 資 産	70,009,348
5. 寄 付 金 収 入	100,000	160,000	60,000	3,000,000		その他固定資産	47,735,773
当 期 収 入 合 計	16,910,000	17,678,684	768,684	19,830,000		固 定 資 産 合 計	118,245,121
						資産合計	138,309,088
II. 支出の部						II. 負債の部	
1. 事 業 費	12,517,602	10,720,587	△ 1,797,015	13,527,602		1. 流 動 負 債	1,610,000
2. 管 理 費	8,819,201	8,915,471	96,270	9,439,201		負債合計	1,610,000
当 期 支 出 合 計	21,336,803	19,636,058	△ 1,700,745	22,966,803		III. 正味財産	
正 味 財 産 増 減 額	△ 4,426,803	△ 1,957,374	2,469,429	△ 3,136,803		1. 正 味 財 産	136,699,088
正 味 財 産 期 首 残 高	138,656,462	138,656,462	0	136,699,088		(うち基本財産)	(500,000)
正 味 財 産 期 末 残 高	134,229,659	136,699,088	2,469,429	133,562,285		正 味 財 産 合 計	136,699,088
						負債及び正味財産合計	138,309,088

代議員名簿

昭36	昭36	昭36	昭36	昭35	昭35	昭35	昭32	昭31	昭30	昭30	昭29	昭29	昭29	昭29	昭28	昭26	昭24	昭18	昭16		
岡村 淑子	磯井 南生	宇佐美 幸子	天草 絢子	松岡 穂子	藤本 泰子	杉原由美子	莊田 尚子	那須 和江	山本 乙生	斎藤 俊子	矢部 育子	武智 正子	高橋 和代	島本 秀代	北山 禮子	井上 玲子	高橋 蕨子	武田多美子	水上多津子	氏家多美子	土岐マリ子
昭46	昭45	昭45	昭45	昭45	昭45	昭44	昭44	昭44	昭43	昭43	昭43	昭43	昭42	昭42	昭42	昭41	昭38	昭38	昭37	昭37	
飯尾美智子	松本みどり	小磯 典子	加藤 峰世	岡田 洋子	秋山 由美	高橋 秀子	金森 泰代	浦田多美子	田丸 光子	朔 美野子	岡山 信子	池村美千代	岸野 秀英	奥津 眞里	荒井 麗子	藤井 光子	大庭 信子	飛田 幸子	伊藤 規子	吉田 厚子	
			昭61	昭61	昭61	昭61	昭61	昭57	昭56	昭54	昭53	昭53	昭51	昭50	昭49	昭49	昭49	昭48	昭48	昭48	
			成田 千晴	田上 敦子	高野 晴音	杉原由利子	佐藤 香代	赤澤由加里	中江 桂子	山中 聡子	松井 悦子	高瀬 穂波	鈴木 秀江	高木かおる	藤田由美子	高橋美枝子	北原 博子	小河原えり子	深田 清子	宮崎由美子	
			(敬称略)																		

寄付の報告



□平成29年年末寄付
○渋谷区社会福祉協議会
○社会福祉法人
読売光と愛の事業団
○(公財)日本障がい者スポーツ協会
日本パラスポーツ募金

ご退職のお知らせ

中高副校長	丸山 正夫先生
教諭	金子 朱美先生
	笹沢 佳代先生
	橋本 洋光先生
小学校 教諭	渡辺 彩 先生
事務室長	花岡由記子様
給食調理員	奥富眞英子様
大学	蘭 千壽先生
法人事務	山城屋正満先生
	羅 仁淑 先生
	谷口伊津子様

物故会員

謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈り申し上げます。

物故会員		謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。	
昭20 B(植田)	飯田 叔子	昭20 B	大槻 純子
昭20 B(清水)	土倉 福子	昭20 B	石原 光江
昭21(奥田)	長町 計余	昭21(堀越)	穂積 弘子
昭23等(矢島)	穂積 弘子	昭24(千種)	倉内 慧子
昭25(豊住)	稲田 貴子	昭26(合志)	大下 昌子
昭26(清水)	椎名 きみ子	昭27(山先)	星野 良子
昭28(高畑)	山脇 洋子	昭29(市田)	Picc. Kimi
昭29(植)	横屋 郁子	昭31(名倉)	上條 志津子
昭31(我妻)	小坂 徳子	昭31(津ヶ谷)	平塚 セツ子
昭31(増田)	小松 明美	昭33短(豊島)	佐伯 南美湖
昭36(黒田)	加治木 直子	昭41(中尾)	石原 紀子
昭38(安間)	島村 清子	昭43(村勢)	松下 由美子
昭46(上坂)	長島 みどり	昭47(岡村)	服部 利枝子
昭48(黒坂)	黒坂 和子	昭49(大嶋)	大塚 文恵
昭50短(高橋)	秋山 伯子	昭51(東条)	北川 比奈子
昭51	中村 智子	昭53短(倉橋)	村上 ひろみ
昭55(清水)	米今 文子	準会員(日高)	鈴木 淑子
昭19(坪井)	美都子	準会員(敬称略)	
昭19(中野)	美知子		
昭18(伊藤)	有賀 広子		
昭18(野口)	佐々木 須美		
昭17(星野)	渡邊 富貴子		
昭17(竹中)	三好 弘子		
昭17(福田)	福田 明美		
昭17(武井)	田川 左知子		
昭17等(川崎舎)	香川 久子		
昭16(三宅)	橋本 ちづ子		
昭15(乙竹)	最所 千代子		
昭14(八木)	増田 幸子		
昭14(西川)	金子 日出子		
昭14(渡辺)	大河原 松子		
昭14(安田)	石沢 弘子		
昭14(宍戸)	荒井 文子		
昭13(松本)	野上 禮子		
昭13	宮田 稔子		
昭12(佐藤)	杉野 千寿子		
昭12	吉田 節子		
昭11(佐々木)	澁澤 照子		
昭11(柿木)	佐藤 千枝		
昭10(岡野)	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		
昭10	沢田 和子		

住所変更、ご結婚、物故等のお知らせは 白菊会までご連絡下さい。

〒150-0012 渋谷区広尾 3-5-22

一般社団法人 白菊会

TEL.03-3400-8221 FAX.03-3400-8345

●白菊会メールアドレス

shiragikukai07@yahoo.co.jp

お問い合わせ

月～金 (11:00～16:00)

土・日祝日は休館

夏期冬期には長期休館あり

会館前・周辺は、駐車禁止

お届け内容

(FAX・メール・はがき)

①卒業年とクラス

②卒業時氏名

③現氏名(ふりがな)

④〒・新住所

⑤電話番号(携帯可)

⑥白菊だよりへの記載
の有無(結婚・物故)

●白菊会ホームページ

<http://www.tjk.jp/shiragiku/shiragiku.html>

維持費について

当館の維持費は各学年1学級毎に年額1,000円です。

- 卒業後、満60年を経た学年は免除。
- 平成12年3月以降高校卒業、同年4月以降短大入学の学年は卒業時に納入済み。
- 維持費は、毎年4月に各学年の代表が会館又は下記へ納入願います。

三菱UFJ銀行 渋谷支店

普通預金 4353746

口座名：一般社団法人 白菊会

●準会員について

東京女学館から転校されてご卒業なさらなかった方も準会員として白菊会登録が可能になります。

詳細は白菊会へお問い合わせ下さい。

白菊会バザー

■平成30年9月30日(日)10:30～15:00

○中体高体育館にて

○バザー券(福引付)400円 入口受付にて販売

○出店のお申し込みを受け付けております。

○ご寄贈のお願い

未使用の衣料品・食器・寝具・タオル・食料品(賞味期限にご注意下さい)・手作り品等。

〔白菊会館までご持参いただくか宅急便(元払い)にてお送りください。年間を通して受け付けております。〕

○お手伝いのお願い

今年は、昭63卒(高校卒後30年)の方々がお当番です。

母校記念祭バザー

■平成30年11月10日(土)11:30～16:00

11月11日(日)9:30～16:00

母校記念祭に参加し、バザー・福引を行います。

皆様お誘い合わせの上どうぞお出かけ下さい。

白菊会館ご利用案内

会館には会議室、集会用の和・洋室がございます。クラス会、講習会、趣味の教室等皆様の集いの場としてご利用いただけます。

〔利用できる方〕白菊会会員。母校現・旧職員。

会員が紹介同席する場合は会員以外の方も使用可。

事前の予約が必要です。

〔利用可能日時〕平日(土・日祝日休館)

11:00～15:30

〔利用料〕○同期会・打ち合わせ等の場合1名300円

(会員以外の方及びお子様も同額をお支払い下さい)

○講習会・教室等の場合

1室(3時間2,000円)2室(3時間3,000円)

3時間を超える場合は1時間につき500円増しとなります。

○ピアノ使用料は1日700円

※詳細は白菊会館までお問合せ下さい。

※同期会ご案内用の住所ラベル(有料)を承ります。



2F 会議室



3F 和室

昭59 (羽佐間)	昭43 (関)	昭61 (大野)	昭57 (市川)	昭61 (田横)	昭48 (井上)	昭51 (大高)	昭59 (各務)	昭45 (近藤)	昭44 (近藤)	昭45 (館)	昭36 (堀)	昭36 (旧姓)
監事	理事	白菊だより・観劇担当理事	白菊だより・観劇担当理事	白菊だより・観劇担当理事	白菊だより・観劇担当理事	白菊だより・観劇担当理事	白菊だより・観劇担当理事	白菊だより・観劇担当理事	白菊だより・観劇担当理事	白菊だより・観劇担当理事	白菊だより・観劇担当理事	白菊だより・観劇担当理事
関	太田	高野	酒井	赤澤	宮崎	原	齋藤	室伏	金森	秋山	宇佐美	幸子
哉子	洋子	晴音	千春	由加里	由美子	千恵子	育子	礼子	泰代	由美	幸子	幸子



セピア色の白菊だよりを繻くと沢山の美しい文章表現や画像に出会うことができます。今この100周年記念号を手にとってくださる皆様にそのよき時代の香りを感じていただけたらという思いで作業に取り組みました。未永く、時折ページをめくっていただける一冊になれば幸いです。ご協力くださった先生方、学校法人東京女学館・担当者様、会員の皆様にご心より御礼申し上げます。是非ともご感想をお寄せください。

白菊会本部役員

編集後記



卒業の歌

作詞 国分操子 作曲 大山たま

卒業の歌「花はうるわしき」は明治45年
初めて歌われた。
白菊会同窓会で毎年必ず歌われている。

花はうるわしき 錦を織りて
式場を飾り 鳥は楽しき
楽を奏して 祝意をあらはす
思へばうれしき 卒業式よ
長き年月 恩師益友
我を教へ 我を励まし
人の踏む道 読み書く業
裁ち縫う術さへ 習ひ得て
今日の筈に 連なる我等
学びの庭を 今日より出でて
浮世の海の 初航海に
のぼらん我等 よしや浪風
荒れん瀬に會うも 年頃日頃
いとねんごろの 師の御教へを
磁石と頼み 正しき道を
進みて行かば 何か恐れん
たつ浪吹く風 あな面白や
あなうれしや 進め友どち



白菊だより第61号（100周年記念号）の
編集にあたり学校法人東京女学館より
貴重な資料をご提供いただきました。
御礼申し上げます。

構内バス停（平成15年）





第61号

(白菊会100周年記念号)

平成30年7月20日 発行

発行者

一般社団法人 白菊会
〒150-0012

渋谷区広尾3-5-22

印刷：凸版印刷(株)
